



入院中の子どもたちにサインやお菓子を贈る千葉ロッテマリーンズの今岡誠、的場直樹元選手、川越英隆コーチ、井口資仁選手（左から）＝30日、南風原町の県立南部医療センター・子ども医療センター

井口「元気もらう」

子ども医療センター訪問

読んで
広がる
NIE

千葉ロッテマリーンズの井口資仁は30日、南風原町の県立南部医療センター・子ども医療センターを訪れ、入院している子どもたちにサインやお菓子を贈った。プロで活躍する選手を身近に見た子どもたちは、声を上げて喜んだ。

野球が大好きだといふ島内慈温君(14)は「かっこいい選手を見られてうれしい。サインは部屋に飾りたい」と話した。

選手に囲まれてベッドで写真を撮った花城皇子さん(12)の母、幸子さん(52)は「娘は状況を判断できていないと思うが、何かしらの良い刺激になったと思う」と喜んだ。

井口の妻が那覇市出身で、クリーニング社・丸三の荷川取浩二社長と同級生という縁で、丸三が主催した。今回で5回目。井口のほかに的場直樹、今岡誠の両元選手、川越英隆コーチも訪れた。

井口は「子どもたちに元気を与えたいと思って始めたが、逆に僕たちが元気をもらっている。早く退院できることを願っている」と話した。

翁長春美看護師長は「子どもたちは朝からそわそわして、選手が来るのを楽しみにしていた。元気つけられる」と訪問に感謝した。